

祝う会主催の任意団体 収支記載せず



衆議院議員 岸田文雄先生就任を祝う会
内閣総理大臣就任を祝う会
2022年6月、地元・広島市で開かれた首相就任祝い会
にあわせて岸田首相

2022年に岸田文雄首相の就任を祝う会を主催した任意団体が、収益の一部とみられる約320万円を岸田首相の関連政治団体に寄付していたことが国会で問題になっている。任意団体には収支の記載義務がないため、実際の収支が明らかにされないまま多額の資金が政治家側に移った形。野党は、首相の秘書が主要業務の一部を担っていたことなどから、実態は記載義務が生じる政治資金パーティーだったと指摘。首相は政治資金パーティーには当たらないとの認識を示している。

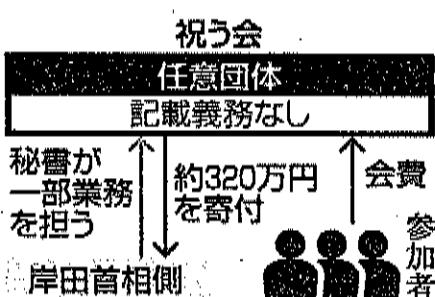
神戸学院大の上脇博之教授は「収益目的に見える。岸田事務所が事務に深く関わっていれば、岸田氏側主催の政治資金パーティーと言える。脱法的だ」と批判。野党などは、岸田首相側による主催とし、収支を明示すべきだったとしている。

岸田事務所は共同通信の取材に「純粹な祝賀会で、事務所が主催した事実はない」と文書で回答。寄付の経緯について任意団体の複数の関係者

首相側に320万円寄附

人とする任意団体が22年6月12日、首相の地元・広島市のホテルで開いた。会費は1万円で飲食の提供はなく、岸田首相の著書や色紙といった手土産が付いた。約1100人が参加したとする。

会費は1万円で飲食の提供はなく、岸田首相の著書や色紙といった手土産が付いた。約1100人が参加したとする。



問題の寄付は22年9月12日に行われた。岸田首相が代表を務める自民党支部が、この任意団体から約320万円の寄付を受領したと政治資金収支報告書に記載。祝う会の収入の一部だという。

野党「実質政治資金パーティー」

会の実務は、元広島市幹部を中心とする事務局が取り仕切ったが、会費振込先の口座開設などは岸田首相の秘書が担つた。会場の設営や警備についても助言したとされる。この秘書は既に死去してい